

英語のかたに挑戦する子どもたち



子どもたちの笑顔いっぱい

5月17日 親子のフェスティバル

恒例の「親子のフェスティバル」がきらめきみなと館で行われました。このイベントは、親子と地域のふれあいをテーマに青少年健全育成敦賀市民会議が毎年開催しており、今年で27回目を迎えます。会場には、写真シールの製作や竹馬作り、英語のかたや貝がらねつけなど、子どもも大人も楽しめるコーナーが設けられ、終日大勢の家族連れで賑わいました。

久豆弥神社で奉納された王の舞



伝統の舞で豊穡祈願

5月5日 沓見御田植祭

県指定の無形民俗文化財である「沓見御田植祭」が、沓見区で行われました。伝統衣装に身を包んだ行列が、笛や太鼓のお囃子とともに「ヤホーハイヤー」と威勢のよい声を上げながら区内を練り歩きました。久豆弥神社、信露貴彦神社では、たくさんの観客が見守る中、区の子もたちが見事な王の舞、獅子舞を披露した後、大人がエブリさしや苗打ちなどを奉納。区が一体となって今年1年の五穀豊穡と無病息災を祈りました。

田植えに初挑戦する子どもたち



街角スケッチ

あなたが写っていたらご連絡ください。
写真を差し上げます。
広報広聴課 ☎ 22 - 8112

おいしいお米にな～れ

5月11日 田んぼの学校

子どもたちが田植えや稲刈りを体験する「田んぼの学校」が、市内4カ所の田んぼで行われました。9年目を迎える今回は、市内の小学校10校が参加。気持ちのよい晴天の下、五幡区の田んぼでは、敦賀西・中央・北小学校の児童計183人が、コシヒカリの苗を植えました。
子どもたちは、初めて入る田んぼに大はしゃぎ。泥に足を取られて転んでしまう場面もありましたが、農家の方に教わったとおり丁寧に苗を植えていきました。「大変だったけれど楽しかった」と笑顔で語ってくれた子どもたち。次回は、秋に稲刈りを体験する予定です。

虫歯がないかチェックしています



歯の健康は大丈夫？

5月31日 歯ッピーフェア

県民の歯を守る週間（6月4日～10日）に合わせて、歯ッピーフェアがポー・トンで開催されました。歯科医師や歯科衛生士が、訪れた買い物客らに無料で歯の検診や歯磨き指導を行い、歯の状態のチェックや健康な歯を保つためのアドバイスをしました。また、イベント中には、上手な歯の磨き方を競う「歯みがき名人コンテスト」が行われ、参加した小学生らは鏡を見ながら1本ずつ丁寧に歯を磨いていました。

積み土の工法の訓練に挑む参加者



いざというときに備え

5月23日 水防訓練

河川の増水や洪水に備えた水防訓練が、古田刈の笹の川河川敷で行われました。この訓練は、水防技術と地域の防災意識の向上を目指し、毎年実施されています。この日は、市や消防署の職員をはじめ、消防団員、敦賀市土木協会、中郷地区の住民ら約170人が参加。土のうを積んで洪水が堤防を越えるのを防ぐ「積み土のう工法」や、堤防の川側にシートを張って侵食を防ぐ「表むしろ張り工法」など4つの訓練を行いました。

燃え盛る火みこしと威勢良く掛け声を出す担ぎ手

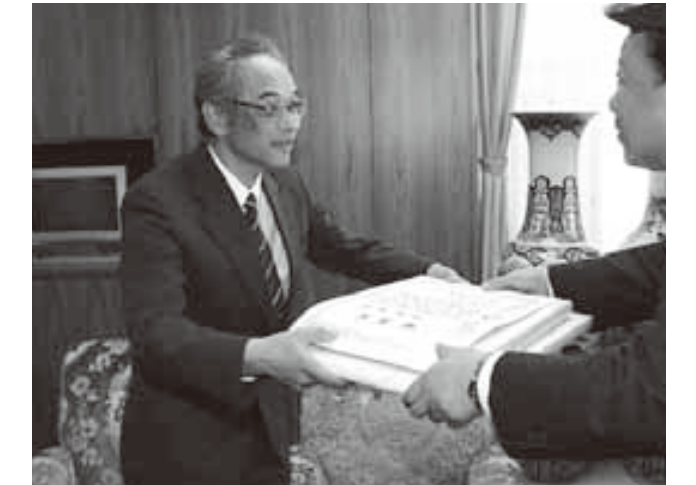


ワッショイ！ワッショイ！

5月4日 白銀神社 火まつり

恒例の白銀神社の「火まつり」が駅前通り周辺で行われました。火まつりは戦前、神社の周辺で火事が相次いだことから、防火を願って始められた行事。今年も、18時30分頃に白い法被姿の男衆らが神社前に集結し、燃え盛る火みこしを担ぎ上げ町内を練り歩きました。その後20時からは、たいまつ行列が合流し、火みこしとともに駅前通りをぐるりと周り、夜の町並みを赤々と照らしました。

河瀬市長から感謝状を受け取る岸本さん



長年の功績に感謝

5月1日 児童福祉関係者市長感謝状贈呈

5月5日から1週間の児童福祉週間にちなみ、児童福祉関係者の感謝状贈呈式が市役所で行われました。今回表彰されたのは、衣掛町子ども会会長、中郷地区子ども会会長など、長年にわたり子ども会活動に貢献してきた岸本正さん（衣掛町）。感謝状を手渡した河瀬市長は「今後も豊富な経験を生かし、子ども会の指導者の育成にも力を貸してほしい」とさらなる活躍を期待していました。